

令和6年度事業報告書

令和6年9月 1日から
令和7年8月 31日まで

I 事業の状況

1. 第73回学術総会の開催

会期：2024年10月14日（月）～10月15日（火）
会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
学会長：JA新潟厚生連 佐渡総合病院 病院長 佐藤賢治
テーマ：多職種で紡ぐ地域医療の未来～超少子高齢社会への提言～

（1）学会長講演

「地方での Well-being に向けて～佐渡ヶ島の挑戦～」
佐渡総合病院 病院長 佐藤賢治

（2）特別講演

「私たちが目指す近未来の医療・介護・ヘルスケアとは」
慶應義塾大学医学部整形外科 教授 中村雅也

（3）教育講演

- ①「行動経済学から多職種連携の実践を考える」
国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 教授／
一般社団法人日本医療戦略研究センター 代表理事 角田圭雄
- ②「地域における協働・共創を実現するための総動－小規模多機能自治の実践から」
IIHOE〔人と組織と地球のための国際研究所〕 代表 川北秀人

（4）文化講演

「Sakeology－新潟から世界へ拡がる日本酒学－」
新潟大学日本酒学センター 副センター長 平田 大

（5）金井賞受賞講演

「環境にやさしい農業の取り組みについて
～佐渡米生産のあゆみと朱鷺と暮らす郷認証制度について～」
朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会 会長 磯部健一郎

（6）シンポジウム

- ①多職種連携の実践～骨折リエゾンサービス：FLS～
- ②未来に向けた病院事務職

（7）特別企画

- ①「少子・超高齢社会の Well-being づくり 佐渡ヶ島からの発信」
- ②「太鼓を用いた Well-being 体験セミナー」
- ③「佐渡における企業との協働」

(8) 特別研究プロジェクト企画

- ①農薬中毒部会「農薬中毒部会からの報告」
- ②農機具災害部会「農機具災害部会からの報告」
- ③地域医療・多職種協働部会「地域医療・多職種協働に向けた日本農村医学会の取り組み」
- ④農村の生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究の取り組み」

(9) 一般演題

- (10) 臨床研修医セッション
- (11) ランチョンセミナー

2. 令和6年度JA共済連委託研究事業の実施

(1) 日本人1型糖尿病患者の生活習慣、食事、運動、睡眠、QOLに関する研究

主任研究者：佐藤淳子（順天堂大学大学院 代謝内分泌内科学 准教授）

(2) ハイリスク糖尿病性腎症における多職種協働透析予防指導前後の $\Delta eGFR$ 改善に関する因子の検討

主任研究者：島 孝佑（厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科 診療部長）

(3) 腸内細菌叢解析による乳幼児肛門周囲膿瘍の病因究明

主任研究者：相吉 翼（土浦協同病院 小児外科 医師）

(4) 認知症発症リスクは農村的地域への居住か、農業か従事か？：縦断研究

主任研究者：LINGLING(千葉大学予防医学センター 社会予防医学部門 特任研究員)

(5) 高齢期のギアチェンジ期において、継続的な農業従事はどういう貢献できるか

主任研究者：山崎 雅之(島根大学 人間科学部 人間科学科 教授)

(6) 農業活動を介護予防・健康維持の資源として活用するための要件の検討

主任研究者：秋山明子(名古屋市立大学大学院 看護学研究科 教授)

3. 特別研究プロジェクト事業の実施

「農薬中毒部会」、「農機具災害部会」ならびに「農村の生活習慣病部会」において、データベースの充実など調査研究事業に取り組んだ。また、「地域医療・多職種協働部会」においては、当学会への発表・論文・研究成果から地域医療・多職種協働に関する研究を行った。

研究概要は以下のとおり。

(1) 農薬中毒部会

厚生労働省の匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）から特別抽出形式で貸与されたデータを解析した。解析結果を第73回日本農村医学会学術総会にて発表した。NDBから抽出されたデータにより国内における農薬中毒発生状況のトレンドを把握できることがわかった。発表内容をまとめた論文を日本農村医学会誌に投稿予定である。

ネオニコチノイドなどの浸透移行性殺虫剤を中心に、生態系への影響に関する文献調査を行い、第72回日本農村医学会学術総会で発表した。昨年（2024年）日本農村医学会誌に論文を投稿した。

農薬使用に伴う健康被害の防止を目的として開設した令和4年度にホームページを定期的に見直し、最新情報に更新した。農薬中毒部会のこれまでの研究成果を一覧できるページを追加した。

農機具災害部会と合同で「農作業安全教本」の作成を進めた。また、これまでに作成した教育資材（農林水産省事業、厚生労働省事業等）を、長野県農業大学校の講義や県内外の農業者を対象とした研修で活用した。

（2）農機具災害部会

令和6年10月14日、新潟市「朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター」にて農薬中毒部会との合同部会を開催し、日韓合同農作業安全シンポジウムについて報告したのち農作業安全教本について協議した。

農作業事故対面調査の事故事例およびJA共済連の農作業事故データをもとに「農作業安全教本」の内容・構成等について検討を重ねた。農作業安全教本の作成にあたり、農林水産省「令和7年度持続的生産強化対策事業のうち農作業安全総合対策推進」事業へ申請したもののが採択となった。

令和6年9月10-12日、韓国・農村振興庁において「第13回日韓合同農作業安全シンポジウム・2024年国際農作業安全セミナー」が開催され、韓国からは農村振興庁、朝鮮大学病院などから約100名が参加した。日本からは伊澤副理事長、大浦評議員ら6名が参加し、大浦評議員から「数万件の農作業事故データから導き出された事故対策の要点」について講演した。

（3）農村の生活習慣病部会

JA共済連より委託研究費を受け、農業従事などの生活習慣、ソーシャルキャピタル（地域の信頼性）、健康状態と健康寿命との関連を明らかにし、「アクティブ・シニア」を育成する方策を明らかにすることを目的に研究をすすめた。

令和5年度にベースラインデータと2022年までの追跡データのクリーニングが概ね完了したため、「介護予防コホート研究データの概要と利用の手引き」を日本農村医学会ホームページに掲載し、解析作業を行う者を募った。その結果、6件の申請があり、当該部会の承認の後、解析作業を行っている。

また、調査に協力いただいた行政機関や団体に結果をフィードバックするため、当該部会において全体報告書を作成している。

（4）地域医療・多職種協働部会

令和6年10月15日、第73回学術総会において、「地域医療・多職種協働に向けた日本農村医学会の取り組み」と題して、過去の学会誌・学会発表における報告の分析をふまえ、人材育成を含めた標準化と地域特性に適合する個別化の視点で、汎用性と柔軟性をあわせもつ地域医療の提言を目指すことを示した。

第2期活動として、協働・連携の基本的概念・基本骨格の明文化し、他の地域でスタートを切るための一つのひな型となるような総論的なモデルの作成を目指すこととした。調査・視察等による地域事例の調査を中心とし、第74回学術総会での部会発表では、「地域医療・多職種協働の実践に向けた基本概念の提案」を発表することとした。第74回学術総会以降（第3期）については、各論への展開方法を検討し、指針策定に向け取り組むこととした。

4. 機関誌の発行

機関誌「日本農村医学会雑誌」は、内容充実を図るとともに定期的に発行した（年6回）。また、英文誌（Journal of Rural Medicine）は、電子ジャーナルとしてWeb上で定期的に発行した

(年4回)。

5. ホームページの充実

対外広報活動の一環として、ホームページの内容充実および利用促進を図った。

6. 地方会との連絡連携の強化

日本農村医学会地方会との連携および組織の拡充強化を図った。

7. 関係学会ならびに関係研究機関との交流

各種学会ならびに関係機関との交流を促進した。

8. 国際農村医学会等との交流促進

国際農村医学会に対して事務局支援を行うとともに、国際農村医学会役員会にWeb参加し連携を図った。

9. 日本農村医学会賞の授与

本学会の発展に貢献した、新谷周三氏（JAとりで総合医療センター名誉院長）、菊池英明氏（帯広厚生病院名誉院長）の2名に対し、第73回通常総会において日本農村医学会賞を授与した。

10. 日本農村医学会金井賞の授与

農村の保健・医療の維持・向上に貢献した、朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会に対し、第73回通常総会において金井賞を授与し、記念講演を行った。

11. 日本農村医学会研究奨励賞の授与

「日本農村医学会雑誌」および英文誌(Journal of Rural Medicine)に掲載した優秀な研究論文に対し、第73回通常総会において研究奨励賞を授与した。

【第26回和文誌研究奨励賞】

① 医師・研究者部門

テーマ：「沖縄県北部地域住民の脂肪肝罹患状況とPNPLA3一塩基多型との関連」[第71卷4号(2022.11)]

受賞者：花城 和彦（公立大学法人名桜大学 大学院看護学研究科病態生理学領域）

② コ・メディカル部門

テーマ：「Abemaciclib服用転移・再発乳癌患者における好中球減少症の発現に伴う背景因子についての検討」[第71卷6号(2023.3)]

受賞者：齊藤俊一郎（旭川厚生病院薬剤部（現：遠軽厚生病院薬剤部））

【第18回英文誌研究奨励賞】

① 医師・研究者部門

テーマ：「Facilitating the acceptance of employment of older registered nurses among Japanese female registered nurses younger than 65 years old」〔Vol.17-3 (2022.7) 〕

受賞者：工藤 安史（四日市看護医療大学）

② コ・メディカル部門

テーマ：「Suffering of patients developing lymphedema following gynecological cancer surgery」〔Vol.18-4 (2023.10) 〕

受賞者：関 恵子（滋賀県立大学）

12. 日本農業新聞賞にかかる候補者の推薦

長年にわたる地域医療への貢献や生活習慣病に関する研究実績などの功績により、百都健氏（佐渡総合病院・名誉院長）を（株）日本農業新聞に推薦し、第73回通常総会において同社から日本農業新聞賞が授与された。

13. JA全厚連会長賞にかかる候補者の推薦

佐渡における脳神経外科診療の開設に始まり、後進の育成、さらには地域医療に至る永年の功績を称え、川崎昭一医師（佐渡総合病院地域連携支援部長）をJA全厚連に推薦し、第73回通常総会において同会からJA全厚連会長賞が授与された。

14. 農村医学に関する統計・資料の収集

農薬中毒、農機具災害および農村の生活習慣病に関する情報の収集・提供に努めた。

II 会議等

1. 第73回通常総会

日時：令和6年10月14日（月）10:30～10:50

場所：新潟県新潟市 朱鷺メッセ4階 「国際会議室」

会員数：4,991名

出席：正会員4,462名（本人出席110名、委任状出席4,352名）

議事：1. 令和5年度貸借対照表・正味財産増減計算書、財務諸表の附属明細書の承認に関する件

2. 次々期（令和8年度・第75回）学術総会会長の承認に関する件

3. 理事補欠選任の承認に関する件

4. 顧問の承認に関する件

5. 名誉理事長の承認に関する件

6. 名誉会員の承認に関する件

報告：1. 令和5年度事業報告ならびに収支計算書について

2. 令和6年度事業計画および収支予算について

2. 理事会

(1) 第203回理事会（法人法第96条による開催）

理事会の決議があったものとみなされた日：令和6年9月19日（木）

理事会の決議があったものとみなされた事項

1. 令和5年度事業報告、事業報告の附属明細書、貸借対照表、正味財産増減計算書、
貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、収支計算書について

(2) 第204回理事会

日時：令和6年10月13日（日）13:00～14:50

場所：新潟県新潟市 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 3階「301B」

主要議事

1. 令和6年度事業計画および収支予算について
2. 顧問の推薦について
3. 第74回学術総会（岐阜県）について
4. 国際農村医学会について
5. 投稿規程等の見直しについて
6. 今後の学術総会について
7. 第59回評議員会議事および第73回通常総会提出議案等について
8. 今後の会議日程について
9. その他

(3) 第205回理事会

日時：令和7年1月31日（金）10:00～12:15

場所：東京ガーデンパレス 3階「平安」

主要議事

1. 第73回学術総会（新潟県）の収支決算および総括について
2. 第74回学術総会（岐阜県）に係る演題募集等について
3. 第75回学術総会（福島県）について
4. 第76回（令和9年度）学術総会会長の選考手続きについて
5. 学術総会における演題登録システム等について
6. 次期（第25期）役員・評議員等の選出手続きについて
7. 令和7年度JA共済連委託研究に係る課題の推薦について
8. 令和7年度研究奨励賞の選考手続きについて
9. 和文誌投稿規程の見直しについて
10. 国際農村医学会について
11. 学術著作権協会からの依頼について

12. 今後の会議日程について

13. その他

(5) 第 206 回理事会

日時：令和 7 年 7 月 4 日(金) 10:00～12:15

場所：東京ガーデンパレス 3 階「平安」

主要議事

1. 第 24 期執行体制の見直しについて
2. 第 74 回（岐阜県）学術総会プログラムについて
3. 次期（第 25 期）役員および評議員候補者の推薦等について
4. 第 75 回（福島県）学術総会について
5. 第 76 回（令和 9 年度）学術総会会长の推薦について
6. 名誉会員の推薦について
7. 令和 7 年度日本農村医学会賞・金井賞および日本農業新聞賞・JA 全厚連会長賞の推薦について
8. 令和 7 年度研究奨励賞について
9. 決算にかかる理事会の開催について
10. 第 74 回通常総会の提出議案等について
11. 特別研究プロジェクト事業の実施状況、令和 7 年度研究計画および今後の活動方針について
12. 国際農村医学会について
13. 令和 6 年度特別研究助成積立特定資産の取り崩しについて
14. 第 75 回学術総会に係る学術総会助成積立特定資産の取り崩しについて
15. 令和 6 年度収支決算見込みについて
16. 令和 7 年度事業計画および収支予算(素案)について
17. 「雑誌投稿規程」の見直しについて
18. 今後の会議日程について
19. その他

3. 第 59 回評議員会

日時：令和 6 年 10 月 13 日（日）15:00～16:50

場所：新潟県新潟市 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 4 階「国際会議室」

評議員現在数：142 名

出席：評議員 141 名（本人出席 58 名、委任状出席 83 名）

議事

1. 令和 5 年度会員の動向について
2. 理事退任に伴う理事の補欠選任について
3. 顧問の推薦について
4. 名誉理事長の推薦について
5. 名誉会員の推薦について
6. 令和 6 年度日本農村医学会賞・金井賞および日本農業新聞賞・JA 全厚連会長賞の推薦について
7. 令和 6 年度研究奨励賞について
8. 令和 6 年度 JA 共済連委託研究事業について
9. 令和 5 年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表の附属明細書および収支計算書について（監査報告）
10. 令和 6 年度事業計画および収支予算について
11. 第 74 回学術総会（岐阜県）について
12. 次々期（令和 8 年度・第 75 回）学術総会会長について
13. 日本農村医学会雑誌に係る編集業務の進捗状況等について
14. JRM に係る編集業務の進捗状況等について
15. 掲載取消となった論文の著者への対応について
16. 特別研究プロジェクト事業の実施状況と令和 6 年度研究計画および今後の活動方針について
17. 国際農村医学会について
18. 本会ホームページのリニューアルについて
19. 「研究倫理審査委員会規則」の見直しについて
20. 日本医学会について
21. 第 73 回通常総会の提出議案等について
22. その他

4. 各種委員会

総務委員会、財政委員会、和文誌編集委員会、学術委員会および、国際交流・英文誌編集（合同）委員会を第 204 回理事会、第 205 回理事会、第 206 回理事会に先立ちハイブリッド開催し、主に理事会の協議事項について協議した。また、迅速審査申請書の提出を受け、研究倫理審査委員会を開催し、6 月 2 日付で迅速審査結果通知書を通知した。

III 会員等の状況

1. 会員数

区分		前年度	入会	退会	当年度
正会員	医師	4,780	1,129	1,156	4,753
	医師以外	211	30	24	217
	計	4,991	1,159	1,180	4,970
賛助会員	個人	0	0	0	0
	施設	17	0	0	17
	法人	2	0	0	2
名誉理事長・名誉会員		15	2	0	17
学術顧問		4	0	0	4

2. 役員・評議員数

区分	前期末	当期就任	当期退任	当期末	定款に定める定数
理事	22	3	1	24	21名以上 25名以内
監事	3	0	0	3	1名以上 3名以内
評議員	144	0	1	143	100名以上 150名以内

3. 当期末現在の役員

役職名	氏 名	就任年月日	所 属 ・ 役 職
理事長	佐藤 賢治	令和5年10月19日 (再任)	佐渡総合病院長
副理事長	伊澤 敏	〃 (再任)	佐久総合病院名誉院長
〃	近藤 克則	〃 (再任)	千葉大学予防医学センター特任教授
理事	九津見圭司	〃 (再任)	ニセコ羊蹄広域俱知安厚生病院長
〃	佐澤 陽	令和6年10月14日	帶広厚生病院長
〃	吉田 雄樹	〃	かづの厚生病院長
〃	軽部 彰宏	〃	由利組合総合病院長
〃	大木 進司	令和5年10月19日	白河厚生総合病院長
〃	酒井 義法	〃 (再任)	総合病院土浦協同病院名誉院長
〃	富満 弘之	〃 (再任)	J Aとりで総合医療センター院長
〃	井關 治和	〃 (再任)	神奈川県厚生農業協同組合連合会副理事長/相模原協同病院顧問
〃	橋本 晋一	〃	浅間南麓こもろ医療センター院長
〃	矢尻 洋一	〃	長岡中央総合病院長
〃	西脇 伸二	〃 (再任)	岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院長
〃	水野 伸一	〃 (再任)	J A静岡厚生連静岡厚生病院長
〃	度會 正人	〃	安城更生病院長
〃	小林 真哉	〃 (再任)	足助病院長
〃	北村 哲也	〃	鈴鹿中央総合病院長
〃	星野 明子	〃	大阪歯科大学 大学院看護学研究科開設準備室教授
〃	山崎 雅之	〃	島根大学人間科学部(医学部兼任) 教授
〃	馬場 良和	〃 (再任)	周東総合病院長
〃	橋本 寛文	〃 (再任)	吉野川医療センター・阿波病院 統括管理者
〃	鈴木 正義	〃 (再任)	大分県厚生連鶴見病院特別顧問
〃	大西 丈二	〃	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター老年内科医長・医療経済研究部副部長
監事	稻葉 聰	〃 (再任)	遠軽厚生病院長
〃	中野 純一	〃 (再任)	全国共済農業協同組合連合会全国本部医長
〃	寺田 光宏	〃 (再任)	厚生連高岡病院顧問
(年度中に退任した役員)			
理事	安藤 克彦	令和7年3月31日退任	上都賀総合病院長

事業報告 附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。